

白山市道路脱炭素化推進計画

令和8年3月

白山市

目次

1.	道路の脱炭素化の目標	1
1.1	「道路管理分野」の目標	1
1.1.1	「道路管理分野」全体の CO ₂ 排出量	1
1.1.2	「道路管理分野」全体の CO ₂ 削減目標	1
1.1.3	「道路管理分野」の個別施策毎の CO ₂ 削減目標	2
1.2	「道路整備分野」の目標	2
1.3	「道路利用分野」の目標	2
2.	目標を達成するために行う道路の脱炭素化の推進を図るための施策に関する事項	3
2.1	道路管理分野	3
2.1.1	道路関係車両の電動化	3
2.1.2	道路照明の LED 化	3
2.1.3	再生可能エネルギー活用	4
2.2	道路整備分野	4
2.2.1	中温化(低炭素)アスファルトの利用推進	4
2.3	道路利用分野	5
2.3.1	都市計画道路の整備及び自転車通行空間の整備	5
2.4	ロードマップ	6

1. 道路の脱炭素化の目標

1.1 「道路管理分野」の目標

1.1.1 「道路管理分野」全体の CO₂ 排出量

本計画における目標の基準年度となる 2013 年度の道路管理分野の CO₂ 排出量を示す。

表 1 道路管理分野における CO₂ 排出量

区分	CO ₂ 排出量
	2013 年度(基準年度)
1. 道路関係車両からの CO ₂ 排出量	223t
2. 道路照明の電力消費による CO ₂ 排出量	994t
3. 道路設備・施設の電力消費による CO ₂ 排出量	355t
計	1,572t

1.1.2 「道路管理分野」全体の CO₂ 削減目標

本計画の「道路管理分野」全体における目標年度及び目標削減率は、以下のとおり。

表 2 道路管理分野における CO₂ 削減目標

	2030 年度	2040 年度
CO ₂ 目標削減率	46.0%	73.0%
CO ₂ 目標削減量	723t/年	1,148t/年

1.1.3 「道路管理分野」の個別施策毎の CO₂ 削減目標

「道路管理分野」全体の CO₂ 削減目標の達成に向けて、「道路関係車両の電動化」、「道路照明の LED 化」及び「再生可能エネルギー活用」により、2013 年度比でそれぞれ 2040 年度までに以下のとおり CO₂ を削減する。

表 3 取組の実施による CO₂ 削減量

取組内容	各取組の整備指標			CO ₂ 削減量	
	2013 年度 (基準年度)	2030 年度	2040 年度	2030 年度	2040 年度
1. 道路関係車両の電動化	0.0%	75.0%	100.0%	42t/年	56t/年
2. 道路照明の LED 化	0.5%	92.0%	100.0%	638t/年	872t/年
3. 再生可能エネルギー活用	16.3%	28.0%	62.0%	62t/年	241t/年
計				742t/年	1,169t/年

1.2 「道路整備分野」の目標

道路整備分野の CO₂ 削減策として、「中温化(低炭素)アスファルトの利用推進」の取組を実施する。

2040 年の「中温化(低炭素)アスファルトの合材出荷率」を 5.0%とすることを目標とする。

表 4 道路整備分野における施策の整備指標

取組内容	中温化(低炭素)アスファルトの合材出荷率		
	2013 年度(基準年度)	2030 年度	2040 年度
中温化(低炭素)アスファルトの利用推進	0.0%	-	5.0%

※2025 年度現在、中温化(低炭素)アスファルトの安定的な供給が見込めないため、2030 年度は試験的導入の段階とし、安定的な供給が見込まれた段階で本格導入を目指す。

1.3 「道路利用分野」の目標

道路利用分野の CO₂ 削減策として、「都市計画道路の整備」及び「自転車通行空間の整備」の取組を実施する。

2040 年の「都市計画道路の整備」を 54,541m、「自転車通行空間の整備」を 29,200m とすることを目標とする。

表 5 道路利用分野における施策の整備指標

取組内容	整備延長		
	2013 年度(基準年度)	2030 年度	2040 年度
都市計画道路の整備	48,405m	54,241m	54,541m
自転車通行空間の整備	0m	9,200m	29,200m

2. 目標を達成するために行う道路の脱炭素化の推進を図るための施策に関する事項

2.1 道路管理分野

道路管理分野の CO₂ 削減目標の達成のための取組は、以下のとおり。

2.1.1 道路関係車両の電動化

(2030 年度までの取組)

2030 年度までにパトロールカーは 75.0%の電動化を進める。

(2040 年度までの取組)

2040 年度までにパトロールカーは 100.0%の電動化を進める。

表 6 道路関係車両の電動化

対象車種	2013 年度 (基準年度)	2030 年度	2040 年度
パトロールカー	0.0%	75.0%	100.0%

※電気自動車のほか水素エンジン等脱炭素に資する新技術についても、その実用性を勘案し導入を検討する。

2.1.2 道路照明の LED 化

(2030 年度までの取組)

2030 年度までに道路照明の 92.0%を LED 化する。

(2040 年度までの取組)

2040 年度までに道路照明の 100.0%を LED 化する。

表 7 道路照明の LED 化率

取組内容	2013 年度 (基準年度)	2030 年度	2040 年度
道路照明 LED 化	0.5%	92.0%	100.0%

2.1.3 再生可能エネルギー活用

(2030 年度までの取組)

2030 年度までに道路管理に使用する電力の再生可能エネルギー比率を 28%にする。

なお、目標達成に向けては、再生可能エネルギーを活用した電力の調達を進める。

(2040 年度までの取組)

2040 年度までに道路管理に使用する電力の再生可能エネルギー比率を 62%にする。

なお、目標達成に向けては、再生可能エネルギーを活用した電力の調達を進める。

表 8 調達電力の再生可能エネルギー比率

2013 年度(基準年度)	2030 年度	2040 年度
16.3%	28.0%	62.0%

2.2 道路整備分野

道路整備分野の取組は、以下のとおりである。

2.2.1 中温化(低炭素)アスファルトの利用推進

(2030 年度までの取組)

中温化(低炭素)アスファルトの試験導入

試験導入のため、2030 年度までの「中温化(低炭素)アスファルトの合材出荷率」の目標は定めない。

(2040 年度までの取組)

試験導入の結果を受け、中温化(低炭素)アスファルトの利用に一定の効果認められた場合、2040 年度までに「中温化(低炭素)アスファルトの合材出荷率」を 5.0%とする。

表 9 道路整備分野における施策の整備指標(再掲)

取組内容	中温化(低炭素)アスファルトの合材出荷率		
	2013 年度(基準年度)	2030 年度	2040 年度
中温化(低炭素)アスファルトの利用推進	0.0%	-	5.0%

2.3 道路利用分野

道路利用分野の取組は、以下のとおりである。

2.3.1 都市計画道路の整備及び自転車通行空間の整備

(2030 年度までの取組)

- ・都市計画道路の整備

2030 年度までに整備延長を 54,241m とする。

- ・自転車通行空間の整備

2030 年度までに整備延長を 9,200m とする。

(2040 年度までの取組)

- ・都市計画道路の整備

2040 年度までに整備延長を 54,541m とする。

- ・自転車通行空間の整備

2040 年度までに整備延長を 29,200m とする。

表 10 道路利用分野における施策の整備指標(再掲)

取組内容	整備延長		
	2013 年度(基準年度)	2030 年度	2040 年度
都市計画道路の整備	48,405m	54,241m	54,541m
自転車通行空間の整備	0m	9,200m	29,200m

2.4 ロードマップ

2.1 から 2.3 に記載した取組毎に、実施時期をロードマップとして示す。

表 11 白山市の脱炭素化に係るロードマップ

取組分野	取組内容	2026 年度	2027 年度	～2030 年度	～2040 年度	
道路管理 分野	道路関係車両の 電動車化	導入計画検討		本格導入		
	道路照明の LED 化	LED 道路照明への交換・導入			センサー照明の導入検討	センサー照明の導入
	再生可能エネル ギー活用	再エネ電力調達の入札案件検討		再エネ電力調達への移行		
道路整備 分野	中温化(低炭素) アスファルトの利 用推進	導入計画検討		試験的導入・検証	本格導入	
道路利用 分野	都市計画道路の 整備	整備				
	自転車通行空間 の整備	整備計画検討		整備		